

第 9 回 天塩川上流流域治水協議会

令和 7 年度の取組実績・令和 8 年度の取組予定

令和 8 年 2 月 25 日

令和7年度の取組実績

【旭川開発建設部】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(旭川開発建設部)

項目	短期 (R3～R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
【河川事業】 河道掘削、堤防整備等 (名寄市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、 排水機場改築等 (点在する市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、堰改築、 堤防整備 (点在する市街地)	→		

R7年度の取組内容

河川事業

河道断面を広げて流下能力を確保
(施工中の様子)



河道掘削

堤防の拡幅
(堤防強化対策を含む施工中の様子)



堤防拡幅

流下能力維持のため、必要な樹木伐採等
を実施



樹木伐採等

堤防拡幅に伴い樋門を改築
(写真は音威子府橋樋門)



樋門改築

【農業用ダム】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

令和7年8月26日～27日の降雨時に、治水協定に基づく貯水位運用等により利水ダムの空き容量を活用して一時的にダム貯留容量を増やし、ダムからの放流量を低減させた。

天塩川上流のダム



令和7年8月26日～8月27日の主な洪水貯留の実績

ダム名	所管省庁	ダム管理者	貯留量 (千m3)
中和	農林水産省	てしおがわ 土地改良区	302
御料	農林水産省	名寄市 (てしおがわ土地改良区)	0
風連	農林水産省	名寄市 (てしおがわ土地改良区)	0
温根別	農林水産省	てしおがわ 土地改良区	1,078
天塩川上流		計	1,380



※事前放流等により確保すべき容量が利水等により既に確保されていたため事前放流は実施せず

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(旭川建設管理部)

項目	短期 (R3～ R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
豊栄川総合流域防災事業 (名寄市)	⇒ (R4完了)		
忠烈布川総合流域防災事業 (名寄市)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
ペンケペオツペ川総合流域防災事業 (和寒町・剣淵町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
剣淵川広域河川改修事業 (上流工区)(和寒町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
剣淵川広域河川改修事業 (犬牛別川工区)(士別市・剣淵町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
剣淵川広域河川改修事業 (六線川工区)(和寒町・剣淵町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
十六線川通常砂防事業 (和寒町)	⇒ (R4完了)		
朝日六線川通常砂防事業 (士別市)	⇒ (R5完了)		
東二号の沢川通常砂防事業 (美深町)	⇒ (R3完了)		
浅瀬川通常砂防事業 (和寒町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
朝日一の沢川通常砂防事業 (和寒町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
一の橋公園の沢川通常砂防事業 (下川町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
弥生一の沢川通常砂防事業 (名寄市)	⇒	⇒ (R10完了予定)	

R7年度の取組内容

過年度から引き続き、河道掘削等を推進する。



剣淵川(和寒町) 施工箇所(河川)



マタルクシュケネブチ川(和寒町) 施工箇所(河川)

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(上川総合振興局産業振興部整備課(整備課・北部耕地出張所))

項目	短期 (R3～R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
農業農村整備事業 (農地の整備・ため池等の整備)	→		
農地整備事業(中士別第2地区)	→		
農地整備事業(中士別第3地区)	→		
農地整備事業(中士別第4地区)		→	
畑地帯総合整備事業(ちえぶん地区)	→		
田んぼダムの広報	→		

R7年度の取組予定

農業農村整備事業

農地の整備による貯留機能向上(田んぼダムの取組の基盤を整備)
農地整備事業において、水田の畦畔や落ち口を整備することにより、水田の貯留機能の向上をはかる。

排水路の整備

畑地帯総合整備事業において、排水施設の整備、耐水化をはかる。

田んぼダムの取組に関する広報

関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

R7年度の取組内容

農業農村整備事業の実施

北部耕地出張所において、農地整備事業を実施し、田んぼダムの取組となる基盤を整備した。

また、畑地帯総合整備事業を実施し、排水施設の整備と耐水化をはかった。

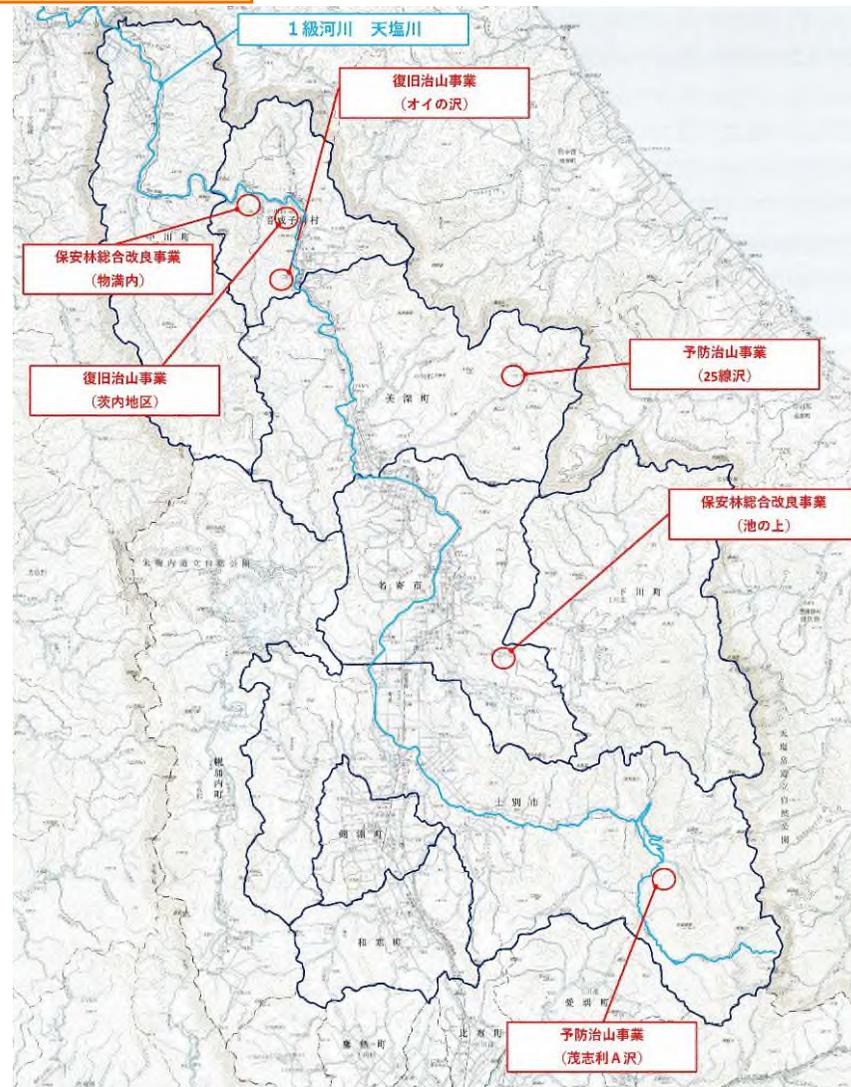


【上川総合振興局林務課・北部森林室】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(上川総合振興局林務課・北部森林室)

項目	短期 (R4~R8)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
復旧治山事業 (オイの沢) (茨内地区)	R8以降随時見直し(予定)		
予防治山事業 (25線沢) (茂志利A沢)	R8以降随時見直し(予定)		
保安林総合改良事業 (物満内) (池の上)	R8以降随時見直し(予定)		

R7年度の取組内容



実施年度	工種・数量	実施箇所
令和7年度	溪間工 1基 溪間工 1基 溪間工 1基 溪間工 1基 森林整備 16.05ha 森林整備 14.00ha	オイの沢 茨内地区 25線沢 茂志利A沢 物満内 池の上

【上川北部森林管理署】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(上川北部森林管理署)

国有林野施業実施計画			
事業区分	上川北部森林計画区 (R5年度～R9年度)		
治山	溪間工	9	箇所
	山腹工	1	箇所
	植栽工	—	ha
	本数調整伐	37	ha
森林整備	間伐	7,089	ha
	更新(造林)	422	ha
	保育(下刈)	3,585	ha
	(除伐)	1,143	ha
	林道(開設)	17,305	m
	(改良)	90	m

令和7年度の取組内容

阿部の沢治山工事

施工前



施工後



中川町に位置し、既設コンクリートブロック堰堤が倒壊したことにより、下流にある農地に土砂流出による被害を与えた。既設堰堤の補修を図ることで、下流にある農地及び道道に対し、土砂流出の防止を図るため設置した。

大西地先の沢治山工事

施工前



施工後



士別市朝日町に位置し、隣接する農地へ土砂が流出し被害を与えた。今後の降雨により溪床内の不安定土砂流出防止を図るため、コンクリート床固工1基を設置した。



計画表(森林整備センター北海道水源林整備事務所)

項目	短期 (R3～R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
水源林造成事業	→		

R7年度の取組内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策
森林整備

士別市の水源林造成事業地で下刈の森林整備を実施



下刈実施前



下刈実施後

【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

■令和7年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動に資するよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◆防災気象情報の利活用推進

■令和8年度からの防災気象情報の体系整理

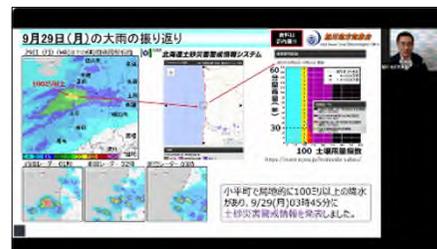
令和8年5月下旬から運用予定の防災気象情報の体系整理に向けた準備（情報名称の変更、警戒レベル4相当情報の新設、洪水関係の情報変更など）。

- 各防災気象情報を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として危険警報を新設。
- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

■防災連携TVによる気象解説(定時・臨時)

毎週木曜日の定期開催と警報級の可能性が高まったときに臨時開催。気象解説以外にも振り返りや参加機関含めた情報提供の共有。
(旭川・留萌各開発建設部、上川・留萌各振興局、気象台の共催)



～令和8年度の予定～

- ・各種防災気象情報の体系整理について、令和8年5月下旬からの運用に向けて、引き続き準備を進める。
- ・「上川・留萌管内防災連携TV」による平時・緊急時の解説や「市町村との顕著事例振り返り」等を実施する。
- ・非常災害時には自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。

【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

■令和7年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動に資するよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◆防災気象情報の利活用推進

■防災気象ワークショップの開催

気象台が日々発表する各種防災気象情報の利活用をより促進いただくことを目的とし、疑似的な市町村を想定し各種防災気象情報に対し各種避難情報の発令判断等をする。(土砂災害編や洪水害編、風水害編)

本日のスケジュール		
時刻	所要時間	実施内容
9:30～ 9:50	20分	「防災気象情報について」
9:50～ 10:00	10分	オリエンテーション
10:00～ 11:20	80分	現在の状況付与・対話の検討 グループワーク・個別結果発表・解説
11:20～ 11:30	10分	まとめ



【お題検討】
【グループ検討】 2日 16:16

入手した気象情報等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① 町として、洪水被害に対してどの様なことに留意すべきか？
→ 町では、どのようなことを実施しますか？
→ 高齢者等避難（二次レベル3）を発令するべきか否か、
→ その地域を警戒すべきか？
→ 今後、どのような準備を特に注意すべきか？ …等
- ② 現在の状況において住民等に留意すべきことは何か？
→ その様な学校で、どのようなことにもなるか検討してください。
※上記2点を町長に説明することを前提に、理由を整理してください。

40分で 検討してください。



令和7年6月4日（木）名寄市役所において、洪水害編を実施。

■一日防災学校への支援

1日防災学校への支援として、大雨・洪水や地震・津波の仕組みや身を守る方法について、講話やクイズ等を実施した。



令和7年8月27日（金）
東神楽町立東神楽小学校



令和7年9月5日（金）
比布町町立比布中央学校



令和7年10月10日（金）
中川町立中川中学校

～令和8年度の予定～

- ・ 防災教育においては、一日防災学校等の支援を行う。
- ・ 市町村防災担当者等を対象とした、「気象防災ワークショップ」の取組みを引き続き実施する。

【士別市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(士別市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水排水施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ2,212.679ha(作付面積)のうち、約623.126haを田んぼダムとして活用しています。
- ・今後は更に拡大をはかるため、引き続き、地域住民に対するPR等を実施いきます。

雨水貯留、浸透施設

- ・排水不全地の雨水貯留設備(釜場)に雨水貯留の準備を図れた。

減災対策協議会における「取組方針」(士別市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画支援者に対する研修会において、各地区に応じたタイムラインを説明し、支援者自らの防災意識の高揚を図る。 自治会及び小学生を対象として「研修会」や「出前授業」を通じ、マイタイムラインの有効性を説明し作成推進を図る。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画の実効性を高めるため、支援者に対する研修会を開催 9月27日防災研修会を実施 避難行動の重要性の協調を図る。
様々な情報伝達手段による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・しべつ暮らしナビ(市民アプリ)をJアラート情報に連携させ、アプリの普及を図る。 昨年10月1日より、連携し運用中
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、計画的に出前講座を行うとともに、水防学習会を通じて防災意識の高揚を図る。 多寄小、上士別小、温根別小、糸魚小で実施し 関連知識の付与及び防災意識の高揚を図った。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・対象外となっている地区の水害リスクの把握要領をわかるように図式化して、大雨時に活用(マニュアルへの反映準備) 警戒する地域の情報収集を実施中

【名寄市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(名寄市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

浸水対策を講じた施設建設計画

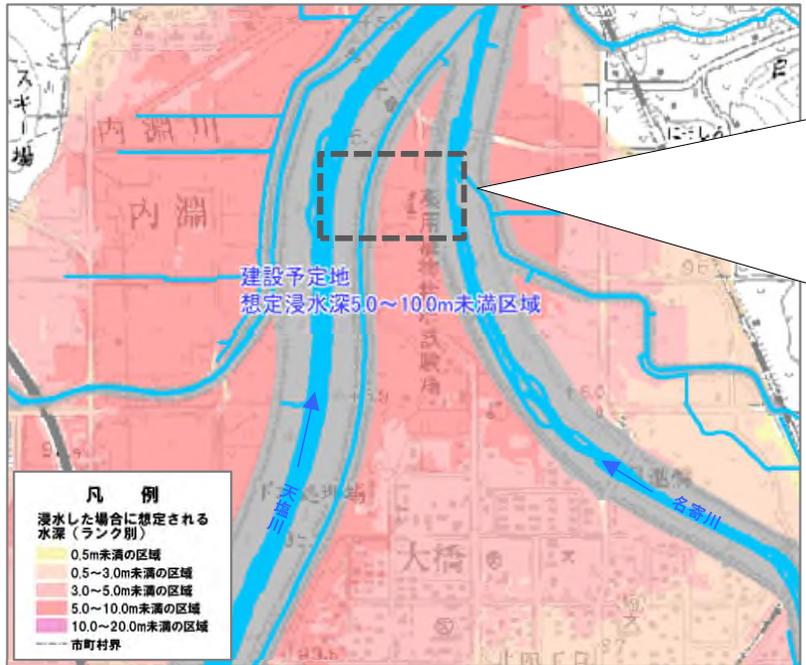
・名寄地区衛生施設事務組合における一般廃棄物中間処理施設の建設にあたり、建設予定地が浸水想定区域内となるため、ごみピット内への浸水を防止するため、ランプウェイを設置し、プラットフォームを浸水想定水位より高くするなど、浸水対策を講じる仕様とし令和6年8月に工事着手。

減災対策協議会における「取組方針」(名寄市)

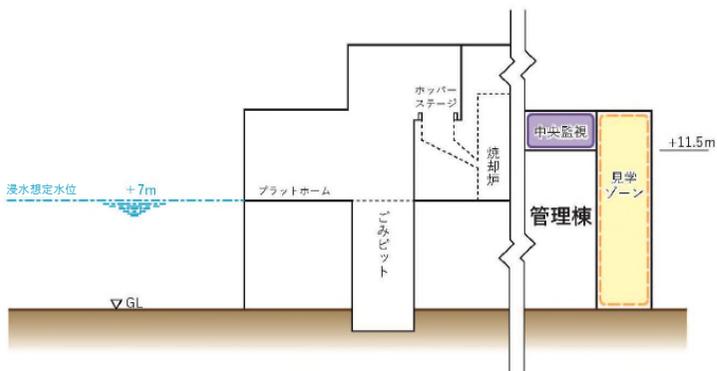
項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<p>①出前講座やイベントなどの機会を通じてマイタイムライン作成の必要性などを伝える。</p> <p>出前講座やイベントをととしてマイタイムラインについて説明、及び作成し、市民の理解度を深めることができた。</p>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<p>①避難確保計画を作成していない要配慮者利用施設に対し、作成に向けた指導や支援をする。</p> <p>②要配慮者施設に避難訓練の実施を促す。</p> <p>福祉部局と連携し、避難確保計画の作成及び見直し、避難訓練の実施について促すことができた。</p>
ハザードマップの利用促進	<p>①名寄市が取り組んでいる「まるごとまちごとハザードマップ」を市民にアピールする。</p> <p>出前講座やイベントをととして周知することができた。</p>
防災教育の徹底	<p>①小学校と協力し、授業などをととして防災・減災について深める。</p> <p>社会科の授業をととして、市の取り組みや防災・減災について深めることができた。</p>
ハザードマップ対象外地区の対応	<p>①対象外地区の住民へ水害リスクを説明する。</p> <p>防災講和やイベントをととして市内の水害リスクについて説明した。</p>

【名寄市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

- ◆ 名寄地区衛生施設事務組合における一般廃棄物中間処理施設(焼却施設)の建設にあたり、建設予定地が浸水想定区域内となるため、基本計画において浸水対策を講じる内容とした。ごみピット内への浸水を防止するため、ランプウェイを設置し、プラットフォームを浸水想定水位より高くする仕様としている。
(令和6年8月工事着工 令和9年度供用開始予定)



天塩川上流洪水浸水想定区域図



工事進捗状況(令和7年10月末時点)

プラットフォーム・焼却炉・中央制御室等、設備中枢部は浸水を避けた高さに配置

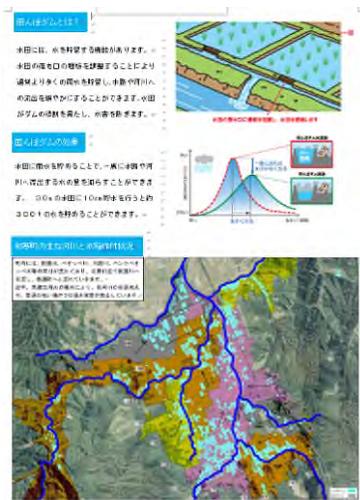
【和寒町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(和寒町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・平成28年から各環境保全会(町内10組織)の協力をいただき、水田800ha(作付面積)のうち800haを田んぼダムとして災害に備えています。



減災対策協議会における「取組方針」(和寒町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	自治会や小中学校での防災研修に取り組み、防災意識を向上させ、マイタイムラインの作成を促進する。 自治会や小中学校での防災研修を行い、防災意識を高め、マイタイムラインの作成を促進した。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	個別避難計画の作成を進め、合わせて訓練を実施していく。 一部地域で計画したが避難訓練の実施はできなかった。
ハザードマップの利用促進	小中学校でのハザードマップを利用した授業や自治会での研修を実施し、ハザードマップ利用の促進を図っていく。 小学校でハザードマップを利用した防災学習を実施した。
防災教育の徹底	自治会での研修や小中学生を対象とした防災の授業などを通じて、地域防災への意識向上を図る。 3自治会と小中学校で防災教室を実施した。
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップ対象外地域はなく、今後のハザードマップ更新時も全町を対象としていく。 同上

【剣淵町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(剣淵町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
農地への浸水対策	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

農地への浸水対策

・普通河川5線川排水路の土砂掘削及び支障木除去を行い、流下断面の確保をした。



防災教育の徹底

・剣淵小学校4年生を対象に防災学校を行い、ハザードマップの紹介や段ボールベットの組み立て、非常食の紹介を行った。



減災対策協議会における「取組方針」(剣淵町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定。 ①作成サポートまでは至らなかったが、高齢者サロンにて紹介した。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	①避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別避難計画を作成。 ①ケアマネージャー等と連携し、個別避難計画を策定した。
ハザードマップの利用促進	①研修会等を通じて町民に周知する(ホームページにも掲載)。 ①防災研修会や町公式LINEにて周知した。
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、計画的に出前講座等を実施予定。 ①NHK旭川放送局の協力を得て、防災研修を行った。年度末には自治会長や地域安全部長を対象に研修会を行う予定。
ハザードマップ対象外地区の対応	①対象外地区なし。次回の改定時にも、漏れがないよう対応する。 ①対象外となる地区はなし。

【下川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(下川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

防災イベントによる勉強会

町民を対象に勉強会を実施。下川町で起こった過去の水害等を紹介し、今後起こり得る災害と必要な準備等について認識を共有した。(約20名)



減災対策協議会における「取組方針」(下川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ①R7年度は引き続きモデル地区を決定し先行的なタイムライン作成のサポートを実施予定。 ②R8年度以降もサポートを地区実施予定。 <ul style="list-style-type: none"> ①マイタイムラインの意義等を公区長会議及び小中高の防災教室・防災訓練で説明 ②引き続きモデル地区を募集
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<p>R7年度の最新情報に合致させるため、避難行動要支援者名簿を更新予定。避難訓練の補助予定</p> <p>各施設を訪問し状況を確認し必要の都度計画修正を助言する。</p>
ハザードマップの利用促進	<p>学校へのお出前授業等で活用を推進予定。</p> <p>まるごとまごとハザードマップ実現に向け各部署と調整中</p>
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ①関係機関と連携し、計画的にお出前講座を実施予定。 ②R6年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材や資料を教育委員会に提供予定。 <ul style="list-style-type: none"> ①お出前講座4件(小中高など) ②教育委員会との調整し実施
ハザードマップ対象外地区の対応	<p>引き続き、次回の改定時にもデータ併用により対応予定。</p> <p>次回の改定版に向け、状況の確認など適宜対応し反映予定</p>

【美深町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(美深町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ217.8ha(作付面積)のうち、150.1haを田んぼダムとして活用
- ・立地適正化計画策定中

減災対策協議会における「取組方針」(美深町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	地域自治会に対し防災計画等の説明会に合わせ、作成を促す。 R7の実施には至らなかったため、住民の防災・避難への意識向上に向けた取組を継続する。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	対象施設の行動計画の策定を行う。 担当者レベルで検討を進めている。
ハザードマップの利用促進	WEB等を利用し、降水時間など時間軸による環境変化などが実感しやすいマップを検討する。 WEB版の作成までは至らなかったが、ハザードマップを更新した。
防災教育の徹底	関係機関・学校と連携し、出前講座等を実施する。 自治会等への出前講座を実施し、防災意識の向上を図った。
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップの対象外区域なし。 引き続き漏れがないよう対応していく。

【美深町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

- ◆ 天塩川沿いに市町村や各市街地が点在し、主要国道やJRが河川に隣接していることから、氾濫が発生すると普及・復興までに時間を要するなど、水害リスクが高い特徴がある。
- ◆ 町では名寄河川事務所と河道掘削残土の活用に関する協定を締結し、町内の農家と調整の上、農地(畑)の嵩上げを実施。沢水等による浸水被害の軽減を図っている。
- ◆ さらに、浸水想定区域内の特別養護老人ホームの施設更新に合わせて、浸水想定区域外への移転を検討しており、被害対象の減少を図る。(R5～6基本構想、R6実施設計、R8着手予定)

水害リスクマップ【現況河道】 浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の浸水が想定される範囲を表示



美深町の取組

○河川工事との連携による浸水被害軽減対策

■河道掘削工事(名寄河川事務所)との調整
(協定締結済)

■残土の受け入れ希望農地の調査・調整

※沢水等による中小降雨浸水被害の軽減、農業収益向上を図る



○災害時要配慮者施設の移転検討

現状、浸水想定区域に立地している特別養護老人ホームの施設更新にあたり、浸水想定区域外へ移転
(R5～6基本構想、R6実施設計、R7着手予定)

※大規模洪水時の被害対象を減らす



【音威子府村】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(音威子府村)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

普通河川の掘削

・物満内川の堆積土砂を掘削し、流下断面の確保を行った



防災教育の徹底

・9月に開催された防災フェスタに参加し、音威子府公民館の一角で段ボールベットやパーテーションで避難所を再現。防災備蓄食の試食コーナーで試食をしてもらい。避難所体験を実施。



減災対策協議会における「取組方針」(音威子府村)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<p>①住民による作成サポート計画を立案し、広報等で周知予定。</p> <p>①マイタイムライン作成に向けた情報収集を引き続き行った。</p>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<p>①地域防災計画に位置づけた要配慮者利用施設において、避難確保計画策定に向け、施設関係職員等と情報を共有する。</p> <p>①福祉部局との作成に向けた調整を行い、策定に向け進行中。</p>
ハザードマップの利用促進	<p>①記載内容の確認し、必要に応じて更新を検討する。</p> <p>①出水期前にハザードマップの確認を行い、住民周知。音威子府村公式LINEに掲載。</p>
防災教育の徹底	<p>①関係機関と連携し、継続的な実施に向け協議を行う。</p> <p>①防災フェスタで避難所体験、音威子府村小中学校にて4年生の社会科「自然災害にそなえるまちづくり」で授業。</p>
ハザードマップ対象外地区の対応	<p>①影響のある地域については、ハザードマップを見直す際に対象地域に加える予定。</p> <p>①該当地区について、影響の有無の判断・検討を引き続き行った。</p>

【中川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

計画表(中川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

減災対策協議会における「取組方針」(中川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、高齢者サロンを活用したサポートを予定 ・6月に一日防災学校、9月に高齢者サロン、10月に町内会に対する防災訓練を通じて作成をサポートした。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しを実施する。 ・避難訓練を適宜実施する。 ・避難行動要支援者について福祉担当者から情報提供を受けた。 ・避難訓練は実施なし。
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。 ・多言語化については今後検討を行う。 ・防災訓練、出前講座において周知した。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して、計画的に防災訓練、出前講座を検討 ・一日防災学校(6月)、防災訓練(10月)、出前講座(9月、10月)を実施した。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施する。 ・実施なし。

自然地保全

・水辺の小さな再生事業として多自然川づくりに関する勉強会を実施した。



一日防災学校

・一日防災学校において、ハザードマップの確認によるマイタイムラインの作成を実施した。



令和8年度の取組予定

【旭川開発建設部】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(旭川開発建設部)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
【河川事業】 河道掘削、堤防整備等 (名寄市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、 排水機場改築等 (点在する市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、堰改築、 堤防整備 (点在する市街地)	→		

R8年度の取組予定

河川事業

河道断面を広げて流下能力を確保
(施工中の様子)



河道掘削

堤防の拡幅
(堤防強化対策を含む施工中の様子)



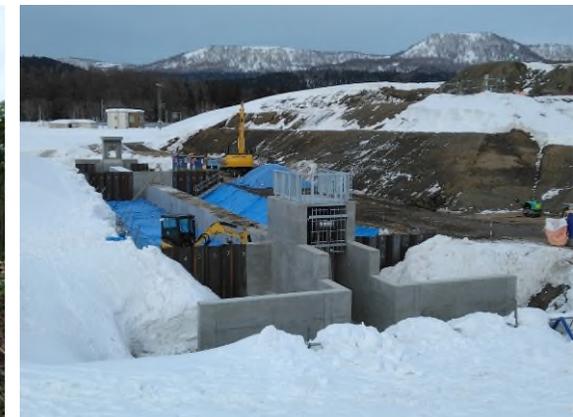
堤防拡幅

流下能力維持のため、必要な樹木伐採等
を実施



樹木伐採等

堤防拡幅に伴い樋門を改築
(写真は音威子府橋樋門)



樋門改築

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(旭川建設管理部)

項目	短期 (R3～ R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
豊栄川総合流域防災事業 (名寄市)	⇒ (R4完了)		
忠烈布川総合流域防災事業 (名寄市)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
ペンケペオツペ川総合流域防災事業 (和寒町・剣淵町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
剣淵川広域河川改修事業 (上流工区)(和寒町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
剣淵川広域河川改修事業 (犬牛別川工区)(士別市・剣淵町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
剣淵川広域河川改修事業 (六線川工区)(和寒町・剣淵町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
十六線川通常砂防事業 (和寒町)	⇒ (R4完了)		
朝日六線川通常砂防事業 (士別市)	⇒ (R5完了)		
東二号の沢川通常砂防事業 (美深町)	⇒ (R3完了)		
浅瀬川通常砂防事業 (和寒町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
朝日一の沢川通常砂防事業 (和寒町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
一の橋公園の沢川通常砂防事業 (下川町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
弥生一の沢川通常砂防事業 (名寄市)	⇒	⇒ (R10完了予定)	

R8年度の取組予定

過年度から引き続き、河道掘削・築堤等を推進する。



剣淵川(和寒町) 施工予定箇所(河川)



マタルクシュケネブチ川(和寒町) 施工予定箇所(河川)

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(上川総合振興局産業振興部整備課(整備課・北部耕地出張所))

項目	短期 (R3～R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
農業農村整備事業 (農地の整備・ため池等の整備)	→		
農地整備事業(中士別第2地区)	→		
農地整備事業(中士別第3地区)	→		
農地整備事業(中士別第4地区)		→	
畑地帯総合整備事業(ちえぶん地区)	→		
田んぼダムの広報	→		

R8年度の取組予定

農業農村整備事業

農地の整備による貯留機能向上(田んぼダムの取組の基盤を整備)
農地整備事業において、水田の畦畔や落ち口を整備することにより、水田の貯留機能の向上をはかる。

排水路の整備

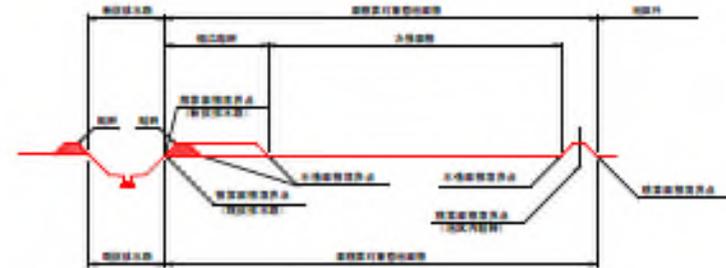
畑地帯総合整備事業において、排水施設の整備、耐水化をはかる。

田んぼダムの取組に関する広報

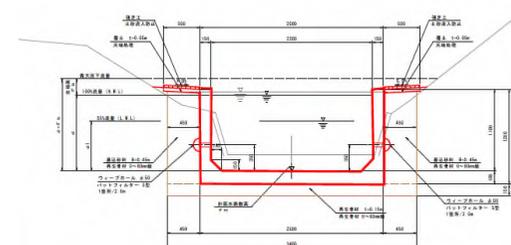
関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

R8年度の取組内容

※ 区画整理標準断面図(畦畔概念図)



※ 排水路標準断面図(1700×1000)

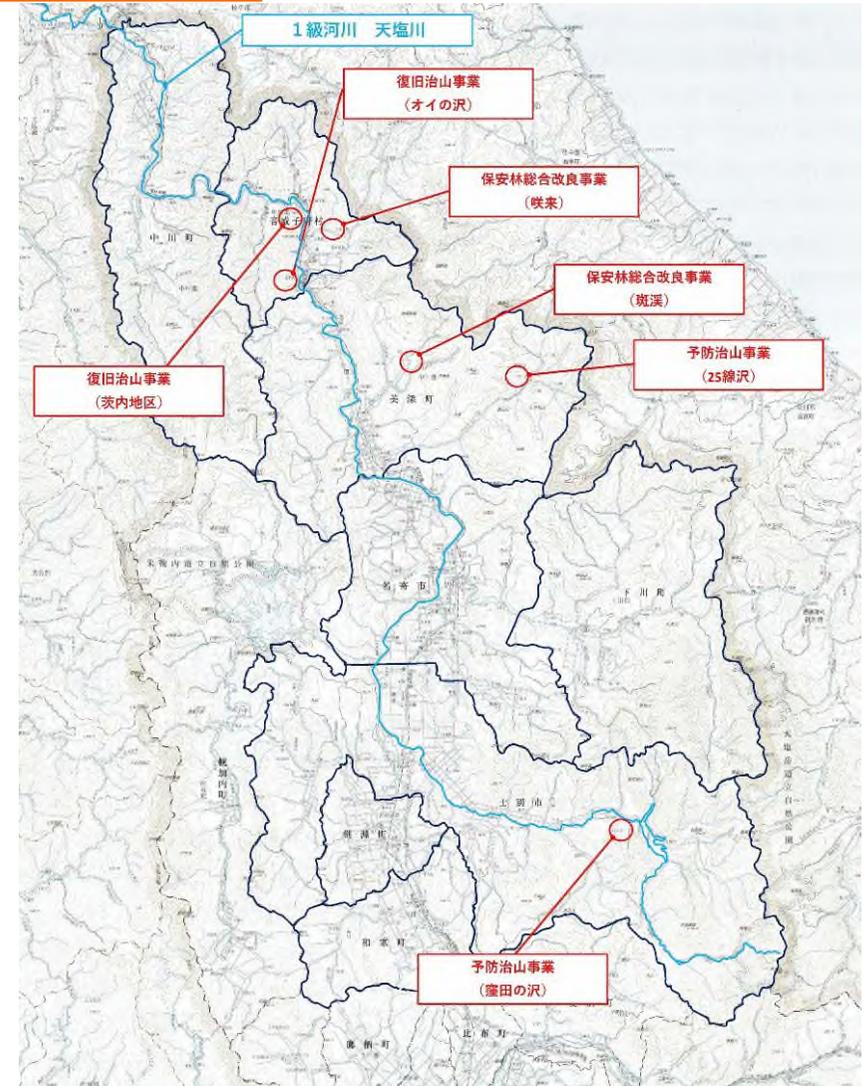


【上川総合振興局林務課・北部森林室】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(上川総合振興局林務課・北部森林室)

項目	短期 (R4~R8)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
復旧治山事業 (オイの沢) (茨内地区)	R8以降随時見直し(予定) →		
予防治山事業 (25線沢) (窪田の沢)	R8以降随時見直し(予定) →		
保安林総合改良事業 (斑溪) (咲来)	R8以降随時見直し(予定) →		

R8年度の取組内容



実施年度	工種・数量	実施箇所
令和8年度	溪間工 1基 溪間工 1基 溪間工 1基 溪間工 1基 森林整備 7.64ha 森林整備 2.75ha	オイの沢 茨内地区 25線沢 窪田の沢 斑溪 咲来

【上川北部森林管理署】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(上川北部森林管理署)

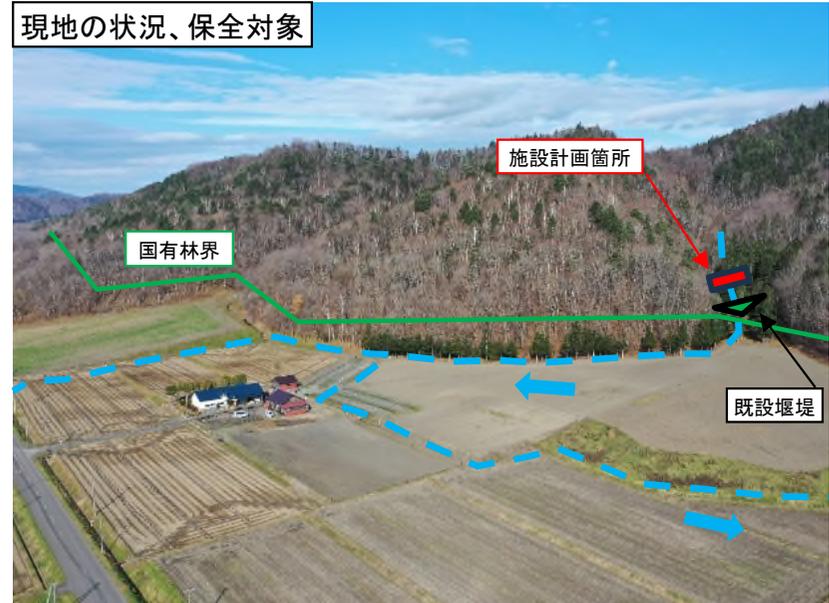
国有林野施業実施計画			
事業区分	上川北部森林計画区 (R5年度～R9年度)		
治山	溪間工	9	箇所
	山腹工	1	箇所
	植栽工	—	ha
	本数調整伐	37	ha
森林整備	間伐	7,089	ha
	更新(造林)	422	ha
	保育(下刈)	3,585	ha
	(除伐)	1,143	ha
	林道(開設)	17,305	m
	(改良)	90	m



令和8年度の取組予定

森の沢治山工事

現地の状況、保全対象



溪間工予定箇所



士別市朝日町に位置し、下流にある農地及び市道の保全のため溪間工1基を計画する。

計画表(森林整備センター北海道水源林整備事務所)

項目	短期 (R8~R12)	中期 (~R17)	長期 (R18~)
水源林造成事業	→		

R8年度の取組予定

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

- ・天塩川流域における水源林造成事業地は、約21箇所（森林面積 約9百ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

R8年度の取組内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策
森林整備



間伐実施前

間伐実施後

【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

■令和7年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動に資するよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◆防災気象情報の利活用推進

■令和8年度からの防災気象情報の体系整理

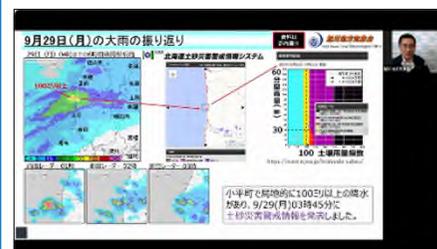
令和8年5月下旬から運用予定の防災気象情報の体系整理に向けた準備（情報名称の変更、警戒レベル4相当情報の新設、洪水関係の情報変更など）。

- 各防災気象情報を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として危険警報を新設。
- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

■防災連携TVによる気象解説(定時・臨時)

毎週木曜日の定期開催と警報級の可能性が高まったときに臨時開催。気象解説以外にも振り返りや参加機関含めた情報提供の共有。
(旭川・留萌各開発建設部、上川・留萌各振興局、気象台の共催)



～令和8年度の予定～

- ・各種防災気象情報の体系整理について、令和8年5月下旬からの運用に向けて、引き続き準備を進める。
- ・「上川・留萌管内防災連携TV」による平時・緊急時の解説や「市町村との顕著事例振り返り」等を実施する。
- ・非常災害時には自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。

【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ～令和7年度～

■令和7年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動に資するよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◆防災気象情報の利活用推進

■防災気象ワークショップの開催

気象台が日々発表する各種防災気象情報の利活用をより促進いただくことを目的とし、疑似的な市町村を想定し各種防災気象情報に対し各種避難情報の発令判断等をする。（土砂災害編や洪水害編、風水害編）

本日のスケジュール		
時刻	所要時間	実施内容
9:30～ 9:50	20分	「防災気象情報について」
9:50～ 10:00	10分	オリエンテーション
10:00～ 11:20	80分	現在の状況付与・対策の検討 グループワーク・個別結果発表・解説
11:20～ 11:30	10分	まとめ



【お題検討】
【グループ検討】 2日 16:16

入手した気象情報等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① 町として、洪水被害に対してどの様なことに留意すべきか？
→ 町では、どのようなことを実施しますか？
→ 高齢者等避難（二次レベル3）を発令するべきか否か、
→ その地域を警戒すべきか？
→ 今後、どのような準備を特に注意すべきか？ …等
- ② 現在の状況において住民等に留意すべきことは何か？
→ その様な手段で、どのようなことにもなるか検討してください。
※上記2点を町長に説明することを前提に、理由を整理してください。

40分で 検討してください。



令和7年6月4日（木）名寄市役所において、洪水害編を実施。

■一日防災学校への支援

1日防災学校への支援として、大雨・洪水や地震・津波の仕組みや身を守る方法について、講話やクイズ等を実施した。



令和7年8月27日（金）
東神楽町立東神楽小学校



令和7年9月5日（金）
比布町町立比布中央学校



令和7年10月10日（金）
中川町立中川中学校

～令和8年度の予定～

- ・防災教育においては、一日防災学校等の支援を行う。
- ・市町村防災担当者等を対象とした、「気象防災ワークショップ」の取組みを引き続き実施する。

【士別市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(士別市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水排水施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ2,221.072ha(作付面積)のうち、約610.525haを田んぼダムとして活用しています。
- ・今後は更に拡大をはかるため、引き続き、地域住民に対するPR等を実施します。

雨水貯留、浸透施設

- ・排水不全地の雨水貯留設備(釜場)からポンプにより汲み出すことで被害の削減を図る。

減災対策協議会における「取組方針」(士別市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	・各種防災研修会の場を活用して、タイムラインを説明し、支援者自らの防災意識の高揚を図る。
確実な避難行動の実施 (災害時避難行動要支援者)	・個別避難計画の実効性を高めるため、支援者に対する研修会を開催
様々な情報伝達手段による情報発信	・しべつ暮らしナビ(市民アプリ)の普及を図る。
防災教育の推進	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を行うとともに、水防学習会を通じて防災意識の高揚を図る。
ハザードマップ対象外地区の対応	・対象外となっている地区の水害リスクの把握要領をわかるように図式化して、大雨時に活用(マニュアルへの反映準備)

【名寄市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(名寄市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

減災対策協議会における「取組方針」(名寄市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①出前講座などをとおしてマイタイムライン作成の必要性、作成方法などを伝える。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	①避難確保計画を作成していない要配慮者利用施設に対し、作成に向けた支援をする。 ②避難訓練実施率が向上するよう実施を促す。
ハザードマップの利用促進	①「まるごとまちごとハザードマップ」の市民認知度を向上させる。
防災教育の徹底	①対象者を限定的にせず、市民全体に防災意識が浸透するようアピールする。
ハザードマップ対象外地区の対応	①対象外地区の住民へ水害リスクを説明する。

浸水対策を講じた施設建設計画

- 一般廃棄物中間処理施設(焼却施設)建設計画について

名寄地区衛生施設事務組合における一般廃棄物中間処理施設の建設にあたり、建設予定地が浸水想定区域内となるため、基本計画において浸水対策を講じる内容とした。ごみピット内への浸水を防止するため、ランプウェイを設置し、プラットホームを浸水想定水位より高くする仕様としている。
(令和6年8月工事着工 令和9年度供用開始予定)



完成イメージ

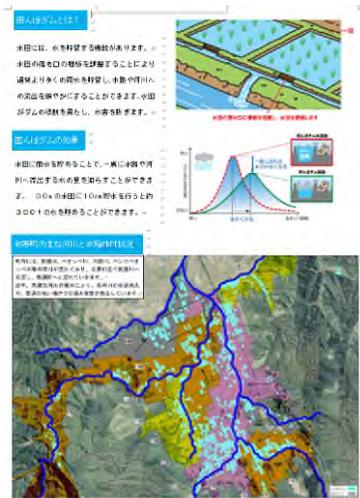
【和寒町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(和寒町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・平成28年から各環境保全会(町内10組織)の協力をいただき、水田800ha(作付面積)のうち800haを田んぼダムとして災害に備えています。



和寒町多面的機能支払事業連絡会

減災対策協議会における「取組方針」(和寒町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	自治会や小中学校での防災研修に取り組み、防災意識を向上させ、マイタイムラインの作成を促進する。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	個別避難計画の作成を進め、合わせて訓練を実施していく。
ハザードマップの利用促進	小中学校でのハザードマップを利用した授業や自治会での研修を実施し、ハザードマップ利用の促進を図っていく。
防災教育の徹底	自治会での研修や小中学生を対象とした防災の授業などを通じて、地域防災への意識向上を図る。
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップ対象外地域はなく、今後のハザードマップ更新時も全町を対象としていく。

【剣淵町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(剣淵町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
農地への浸水対策	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

田んぼダムについては、活用に向けた検討を、農政部局と進めていきます。

マイタイムラインの作成促進

・自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定。

減災対策協議会における「取組方針」(剣淵町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定。
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	①避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別避難計画を作成。年1回は見直しをかけ、関係者に情報提供する。
ハザードマップの利用促進	①研修会等を通じて町民に周知する(ホームページや町公式LINEにも掲載)。
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、計画的に出前講座等を実施予定。
ハザードマップ対象外地区の対応	①対象外地区なし。次回の改定時にも、漏れがないよう対応する。

【下川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(下川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

流域治水に関する説明・意見聴取

6月、12月、3月に実施される公区長会議の場で流域治水についての説明を継続実施

防災研修・体験会による地域治水の説明

- ・ 町民を対象にした研修会及び小中高を対象とした防災出前講座など流域治水についての説明を継続実施
- ・ 町民を対象にした体験イベントを実施

減災対策協議会における「取組方針」(下川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①R8年度も引き続きモデル地区を決定し先行的なタイムライン作成のサポートを実施予定。 ②R9年度以降もサポートを地区実施予定。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	R8年度の最新情報に合致させるため、要配慮者利用施設の避難確保計画を更新予定。避難訓練の補助予定
ハザードマップの利用促進	引き続きまごまちごとハザードマップ実現に向け検討継続。
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R8年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材や資料を教育委員会に提供予定。
ハザードマップ対象外地区の対応	引き続き、次回の改定時にもデータ併用により対応予定。

【美深町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(美深町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大		継続
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・作付面積217.8haのうち、150haを田んぼダムとして活用

減災対策協議会における「取組方針」(美深町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	地域自治会等を通じて作成を促す。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	対象施設の行動計画策定について協議を進める。
ハザードマップの利用促進	マイタイムライン作成を含め、防災意識を高められるよう自治会等と連携し、利用促進を図る
防災教育の徹底	関係機関等と連携し、引き続き出前講座等を実施する。
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップの対象外区域はない。引き続き漏れがないよう対応する。

【音威子府村】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(音威子府村)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

自然地保全の取り組み

- ・関係機関と連携しながら保全の取り組みを継続する。

普通河川の掘削

- ・土砂堆積により河川断面が阻害され河川流下能力を低下させないよう、適宜、河川掘削を実施する。

減災対策協議会における「取組方針」(音威子府村)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①住民による作成サポート計画を立案し、広報等で周知予定。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	①地域防災計画に位置づけた要配慮者利用施設において、避難確保計画策定に向け、施設関係職員等と情報を共有する。
ハザードマップの利用促進	①記載内容の確認し、必要に応じて更新を検討する。
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、継続的な実施に向け協議を行う。
ハザードマップ対象外地区の対応	①影響のある地域については、ハザードマップを見直す際に対象地域に加える予定。

【中川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和8年度の予定～

計画表(中川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

減災対策協議会における「取組方針」(中川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	・出前講座、防災・避難くれんを通じて住民による作成をサポート
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	・避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しを実施する。 ・個別避難計画の計画的な更新・拡充
ハザードマップの利用促進	・出前講座、防災・避難訓練等を通じた利用と周知を行う。 ・多言語化については今後検討を行う。
防災教育の徹底	・小中学校を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育を実施する。
ハザードマップ対象外地区の対応	・対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施する。

自然地保全

- ・水辺の小さな再生事業を継続し、町内河川の保全に努める。